

# 住みよい まちづくり通信



道町連 No. 107

●発行日 令和6年9月30日  
●発行 一般社団法人 北海道町内会連合会  
〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目1番地  
かでの2.7  
☎(011)271-3178 FAX(011)271-3956  
E-mail : info@d-choren.or.jp

ホームページ検索



来賓挨拶をいただいた北海道総合政策部の馬場俊哉地域創生局長



(移動距離は) 日本一の気象予報士  
講演をいただいた気象キャスターの菅井貴子さん



道町連長谷川会長から表彰状の授与



謝辞を述べる江別市の矢崎聖順会長

令和6年度全道町内会活動研究大会が、去る5月28日、札幌市かでの2.7において、道内各地より約180名の参加を得て、コロナ禍を経て5年ぶりに開催されました。

大会は、表彰と講演の内容で行われました。講演は、気象キャスターの菅井貴子氏を講師に招き、「安心・安全な地域の支え合いと絆づくり」をテーマからお話いただきました。

大会席上、北海道町内会連合会の表彰式が執り行われ、12組織74名の方々が表彰を受けられ、受賞者を代表して、江別市の矢崎聖順さんが謝辞を述べられました。

お天気を通して  
地域の災害対策  
を考える

令和6年度全道町内会活動研究大会報告

地域の絆と安心・安全なまちづくり

## 目次

令和6年度全道町内会活動研究大会の報告	1～3	災害に強いまちづくり全道運動	6
令和6年度総会の報告	4	道町連共済のご案内	7
ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動	5	道町連からのお知らせ	8

講演概要

「安心・安全な地域の支え合いと絆づくり」

講師 菅井 貴子氏  
(気象キャスター)



□ 台風はしとしと、週間予報は11時

本日の講演では、天気を通して、地域づくりと絆の大切さをお話させていただこうと思います。これから北海道も台風シーズンに入ります。天気のポイントとして、地域の防災を考えるためには、台風の最新情報をチェックする必要があります。台風情報の更新は、午前・午後のそれぞれ4時と10時です。「しとしと」(4、10、4、10)じやすまない「台風予報」と覚えて、その時間に台風情報を確認してください。天災から地域を守るとい意味で、天気予報は鮮度が命ですので、ぜひ覚えてください。もう一つ、鮮度が命という意味では、週間予報です。皆さん、朝や晩にご覧になる方がいるかと思いますが、一日一回大きく変わるのは午前11時の一度だけです。週間予報は、午前11時以降にチェックしていただくよりお役に立てると思います。「台風はしとしと」、週間予報は11時」と覚えてください。

□ 北海道へ移住

大学の時に自転車部に入っており、自転車で北海道を半周しました。釧路市、弟子屈町、中標津町、羅臼町、知床そしてウトロの方から知床峠を越えて旭川市へと、2週間かけて周りました。緑は豊かで、食べる物も美味しく、何よりも、北海道の方々は北海道に来てくれてありがとうって言うてくださるんです。私も道民になって北海道に来てくれてありがとうって言うてほしい、大学1年生の時に北海道移

住を決めました。今では父母も移住して、もう80歳を過ぎておりますが、北海道民1年生、真正正銘の道産子になりました。北海道の美味しいもの、きれいな景色、四季の豊かさを味わってほしいと思います。

□ 世界的にも珍しい気候多様性の北海道

北海道は、町によって気候が違う気候多様性です。年平均気温の一番低いのは、上士幌町の3・5度。最も高く10度を超えているのは、松前町、奥尻町、江差町です。日照時間が長いのは、2000時間を超えている池田町、浦幌町、帯広市です。最高気温では、2019年5月26日に佐呂間町で、39・5度という記録があり、全国ニュースとなりました。札幌市では、2023年8月24日に36・3度と最高気温の歴史を120年ぶりに塗り替えました。

どうして北国なのに暑くなるのか。北海道では、2000m級の山々があるため、フェーン現象が発生します。(※湿潤な空気が山を越えて反対側に吹き下りたときに、風下側で吹く乾燥した高温の風が付近の気温を上昇させること)山が暑さを作り、魔女の風が吹く大地と言われています。

また、北海道には、世界的にも珍しく海水温の違う3つの海に囲まれています。東の方には、流水の名残があるので、海が冷たく、東風が吹くとヤマセとかリラ冷えて寒くなり、西風が吹くと、海水温が高く、フェーン現象が発生し、暑くなります。そして、南風が吹くと東の方では、海水温が低いため霧が発生しますので、北海道には気候多様性が存在します。

そして、最低気温では、122年前の1902年に旭川でマイナス41度を観測しています。北海道には流水が来ますが、これは世界の南限です。こんなに南にあるのに、北極と同じ環境になるのは奇跡です。いろんな条件が重なって、奇跡の大地というのが北海道です。アイヌ語では、食も水もエネルギーも資源も、人間が暮らすのに全て揃っている地、人間の大地という意味でアイヌモシリと言います。このように、北海道は気候多様性があり、農業、

漁業、酪農にも活かされています。

□ 北海道の気候の変化

最近、北海道の気候が変わってきています。春は桜が早く咲き、夏は暑く、秋は遅く、冬は短く、2月には暖気が流れ込んで水濤まつりの水像が溶けて、中止になりました。

大雨・暴風もそうですが、静かな災害もあります。雨が全く降らないとか、霜の被害もそうです。

札幌市もこの10年で、昔の函館市よりも気温が高くなりました。蝦夷梅雨傾向になり、札幌市は6月の雨が増え、雪が少なくなりました。夏日は25度以上の日数が2か月もあり、気候の変化がみられます。このように気候が変わってきています。

□ 北海道も温暖化が進む

このまま温暖化が進むと北海道はどうなるのでしょうか。地球温暖化で異常気象が増えていくだろうと言われおり、極端な現象が3つ増えます。

1つ目は、強い台風が日本に来るようになります。個数は少ないですが、強い勢力になります。台風が前線が加わると大災害になります。過去の北海道の大雨災害は、大体台風と前線とセットで見舞われています。

2つ目は、爆弾低気圧が増えるだろうと言われています。爆弾低気圧は台風とそっくりですが、メカニズムは全然違います。24時間で24ヘクトパスカル気圧が下がり、急速に発達します。

最後に3つ目ですが、温暖化による北海道寒冷化説があります。北極の氷が溶けると気圧配置が変わり、陸だったところが海になると、シベリア高気圧の位置にズレが生じます。そうすると北海道では寒く、雪がたくさん降るとい傾向に変わってくるだろうと言われています。

1シーズン前、小樽市と留萌市でドカ雪に見舞われ、観測史上一番の大雪になりました。2シーズン前は、日本全国大寒波に見舞われ、山陰では猛吹雪で立ち往生になりました。3シーズン前は、札幌市など道央圏で、二回のドカ雪により、三日間交通機



関が麻痺し、物流もストップ。ごみ収集車も来られず、除雪車も入れない。さらに、雪を捨てる場所がないという大被害に見舞われました。

このように、温暖化で「強い台風が増える」、「爆弾低気圧が増える」、「冬が寒冷化していく」という3つの影響が心配されており、防災対策というのがこれから欠かせなくなりそうです。

■災害発生時の5つのリスク

ここからは、私の気象予報士の業務を通じて得た災害時の5つのリスクをお伝えします。皆さんと一緒に考えていただくことで、地域づくりに活かしていただきたいと思います。

災害発生時の5つのリスク

- 1 予測ができない
- 2 予測ができて、情報が伝わらない
- 3 発災後、情報が伝わらない
- 4 予測ができて、対応できない
- 5 予想ができて、対応しない

まず、1「予測ができない」事例は竜巻です。北海道で日本最大級の竜巻が2006年11月、佐呂間町で発生しました。竜巻は、距離としては横幅が数10メートルで、局地的に大きな被害をもたらしました。翌年から気象庁が情報の見直しを行い、2008年3月から竜巻注意情報の発表を開始しました。竜巻注意情報の適中率は5〜10%程度です。気象庁も空振りするかもしれないと思っておりますが、命には代えられないので竜巻注意報を発表しています。竜巻が発生したらまず助かりません。対策して損した。逃げて損した。と思わずに、情報にも慣れないでいただきたいと思えます。線状降水帯予測も約30%以下です。発生しないことを願いますが、発生するとまず無事では済みません。

2「予測ができて、情報が伝わらない」ですが、過去には、冬の嵐、爆弾低気圧を前日から予想できていました。しかし、昼前に小康状態で晴れてくる予報でしたので、そこで外出してしまうと絶対に帰

れないくらいに嵐になることがわかっていたため、各局の気象予報士は、晴れても絶対外に出ないでくださいと、繰り返してお伝えしましたが、天気予報の視聴率から考えるとなかなか伝わらない。どのように伝えるかという課題が残りました。

3「発災後、情報が伝わらない」

これは北海道胆振頭部地震の私たち道民の経験ですが、ブラックアウトの時、スマホが繋がらなかつた時間があります。被災地で何が起きているのか、物資がいつ届くのか、電気がいつ復旧するのか等、情報・流通のムラが起きました。大きい災害の時は情報が伝わらなくなるリスクがあります。

4「予測ができて、対応できない」

は、2016年に北海道で台風が5個も来ました。2週間という短い間に2日に1個の台風が来ていました。台風が来るたびに地盤が緩み、川の水位が上がります。よく何かあったら自宅に避難、垂直避難、在宅避難と言われます。避難指示が出てから、特別警報が出たら外に出ないでと言われることがありますが、ケースバイケースです。家だから安全ということはありません。家ごと流されることもあります。その土地に長く住んでいる方は「ここは昔から大丈夫だった」「何かあったら神社に避難すればいい」とよく言われます。しかし、地盤の良い神社ですら被害に遭っていますので、新たな対策を見直し、想定外を想定した対策を考えていただきたいと思います。

5「予想ができて、対応しない」

ケースがあります。私もそうですが、「私は大丈夫、ここは大丈夫」「みんな逃げないから大丈夫」「みんなここにいるからここは安全だ」と思ってしまう。これは災害心理学です。

2022年4月23日に大きな災害がありました。知床の観光船KAZU1(カズワン)が出航した日です。なぜ、出航したのかはわかりませんが、おそらく正常性バイアスが働いたのだと思います。その日は寒冷前線が通過した日で、地元では漁が行われないほどの恐い気圧配置だったこともあり気象災害であると思いましたが、予想ができて、対応しないケースとして紹介しました。(ハッチの不具合な

ど設備上の問題がありました。高波や強風にあおられたことも要因です)。

今後、予測ができないということは改善されてくると思えます。5、6年おきにスーパーコンピューター・富岳に更新されていますので、令和の時代、天気予報が当たるようになります。将来、竜巻の予測やどこで雷が落ちるかということもわかるかもしれません。気象技術というのはとても頼もしい科学技術ですので、そういった技術からの情報を皆さんの生活にも活かしていただきたいと思います。

□助け合い「自助」、「公助」、「近助」

命を守る三原則では、①「情報」は大事です。しかし、情報だけでは命守れませんので、②「備え」のほか、③「知識と意識」も持っていたいただきたいと思えます。そして、地域においては、何かあったらまず自分の身を守る「自助」、公が助けしてくれる「公助」そして、一番効果的な「近助」です。あそこには高齢の方がいる。あそこには赤ちゃんがいる。あそこは日中留守だとか、近所の方はよく知っています。「近助」では、地域の支えと普段からのコミュニケーションが大事です。何かあった時に助け合う関係を築いていきたいと思います。

私は「北海道に来てくれてありがとう」という言葉に感動して北海道に来ました。これからは「豊かで安全な北海道に来てくれてありがとう」という言葉をかけていきたいと思います。

本日の講演をきっかけに、みなさんの地域での取り組みについて考えていただき、健康に留意されてお過ごしいただきたいと思います。

(文責 事務局)



# 令和6年度総会の報告

令和6年度総会が、去る5月29日、札幌市において出席者143名（うち書面表決84名）の出席を得て開催され、報告事項では令和5年度事業報告、収支決算報告、監査報告、議決事項では令和6年度事業計画案、収支予算案が原案通り承認されました。さらに、役員改選が行われ、21名の新理事が選任されました。また、総会最終後、新理事による臨時理事会が開催され、会長、副会長が選定されました。

## 会長就任にあたって

北海道町内会連合会

会長 山中 忠典



私、5月29日に開催されました令和6年度総会におきまして、会長の大任を仰せつかりました。

今後は、新たな役員体制のもと、本会のおかれている厳しい財政状況を克服し、道内の町内会・自治会活動の強化・発展に向けて、地域の関係機関・団体と連携を図り、取り組みを進めて参ります。

全道各地において誰もが安心・安全に暮らせる住みよいまちづくりが展開されるよう町内会・自治会活動の推進に専心努力いたす所存でございますので、皆様方の一層の御指導・御鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 住民主体をキーワードに 安心・安全な地域づくり をすすめます

### 二つの全道運動の推進

「ひとりの不幸もみのがさない住みよいまちづくり全道運動」と「災害に強いまちづくり全道運動」は、見守り・声かけ・助け合い活動を推進するとともに、住民による自主防災活動を推進し、安心・安全なまちづくりをすすめます。



### 調査・広報活動の充実強化

本会広報紙の「住みよいまちづくり通信」やメールマガジン「町内会ニュース」の発行のほか、ホームページでの会員組織の情報収集・提供や道内外の町内会・自治会活動の収集情報により、町内会の充実強化を図ります。また、本年度の新たな取組みとして、5年ぶりに市区町村町内会・自治会連合会組織基本調査を実施します。

### 将来にむけた財政のあり方を検討

本年度は、財政のあり方検討委員会を3年ぶりに開催し、本会がおかれている厳しい財政状況を克服し、適正な予算執行の確保に必要な方策の検討をします。

## 法人の運営を よろしくお願いします

### 令和6年度・役員の一紹介

#### 札幌ブロック理事

- 会長 山中 忠典氏（白石区）
- 副会長 山岸 裕氏（手稲区）
- 理事 高橋 博章氏（北区）
- 新理事 山田 良一氏（豊平区）

#### 道央ブロック理事

- 副会長 佐藤 裕氏（倶知安町）
- 理事 中島 隆義氏（芦別市）
- 新理事 荒 洋一氏（千歳市）
- 新理事 橋本 正美氏（新冠町）

#### 道南ブロック理事

- 副会長 沼田 俊治氏（室蘭市）
- 理事 堀田 市雄氏（七飯町）
- 新理事 山端 豊城氏（苫小牧市）
- 新理事 岩井 慎氏（江差町）

#### 道北ブロック理事

- 副会長 鎌田 勲氏（富良野市）
- 理事 竹谷 志郎氏（天塩町）
- 新理事 猿谷 繁明氏（名寄市）
- 新理事 小川 文三氏（稚内市）

#### 道東ブロック理事

- 副会長 三原 忠氏（北見市）
- 理事 黒田 幸市氏（網走市）
- 理事 黒木 満氏（釧路市）
- 新理事 島 祐一氏（根室市）

#### 学識経験分野理事

- 理事 前田 裕二氏（道社協）
- 監事 北林 優氏（恵庭市）
- 監事 平川登美雄氏（手稲区）





実践活動のメニュー

①啓発活動

- 健康教室、栄養・料理教室
- 悪質商法被害防止研修会 ●交通安全教室
- 住民福祉懇談会 ●福祉だよりの発行

②交流活動

- ひとり暮らしの高齢者等との会食会・茶話会・交流会
- お年寄りと子どものつどい ●ふれあいサロンづくり

③在宅福祉サービス活動

- 声かけ訪問 ●除排雪活動 ●配食サービス

④ネットワークづくり

- 町内会助け合いチームづくり
- 災害時要援護者のための体制づくり
- 消費者被害防止ネットワークづくり
- オンラインによる地域のコミュニケーションづくり
- 防犯パトロール活動

⑤マンパワー養成

- 傾聴ボランティア等の養成研修会 ●介護教室

⑥調査活動

- ひとり暮らしの高齢者マップ調査
- 高齢者ニーズ調査

活動費助成の二次募集受付中

すでに本会正会員宛にご案内しておりますが、予算の範囲内で令和6年度活動費助成の二次募集を行っていますので左記のような活動を行っている町内会がありましたら、所属の連合会組織を通じてお問い合わせください。

【二次募集は12月20日まで申請受付中】

令和6年度  
ひとりの不幸もみがさない  
住みよいまちづくり全道運動

北海道町内会連合会では、地域のひとり暮らしの高齢者や高齢者を介護する家族にとって一番身近な町内会・自治会が、要援護者の発見・声かけ・助け合い活動を実践していただくことを運動目標に「ひとりの不幸もみがさない住みよいまちづくり全道運動」を平成2年度から北海道社会福祉協議会、北海道共同募金会との三者提唱によりすすめています。単位町内会あるいは地区連合町内会を対象に、年間を通して活動には「単年指定」で3万円、2年間かけた新たな活動には「2年指定」で5万円を助成しています。

令和5年度の事例  
防災・防犯対策及び空家の活用を推進  
「居住実態マップ・調査票作成」

苫小牧市樽前町内会

苫小牧市樽前町内会（93世帯）では、地域における居住実態を把握し、防災・防犯対策及び空家の利活用の推進をしています。

最初に委員会を立ち上げ、調査票の内容や訪問時の確認事項のほか、調査の進め方について協議を重ねました。苫小牧市危機管理室や社会福祉協議会、地域の民生委員児童委員等、他団体を交えて会議も開催し、意見交換も行いました。

マップと調査票を作成するための聞き取り調査では、町内会役員証を携帯し、各戸訪問を実施しました。調査で情報収集した内容は、ラミネート加工をして、地域全体の白地図に直接マジック等でマップに落とし込みました。

聞き込み調査では、コロナ禍で地域交流が減ったこともあり、地域の生活環境の変化に気付くこともでき、さらに、新たに居住された方との繋がりを持つこともできました。

今後も、調査を見守り活動に繋げながら、地域の実態を把握し、情報を更新し、防災・防災対策として、災害時の要支援者の把握にも活用していく予定です。



ラミネート白地図に直接記入

見守り  
新鮮情報

483号

国民生活センター  
買い物中の  
転倒事故に注意！

事例1 大型スーパーに行き、フロアの真ん中を歩いていたとき、周りのお店などに気を取られていたら、フロアのコードカバーにつまずいて転び、左ひざを強く床にぶつけ、痛さで起き上がれなくなった。救急搬送され、7日間入院した。（70歳代）



事例2 雨天の夜、コンビニの入り口のマットから、一歩踏み出した際に転倒した。帰宅してから痛みが増し、救急で病院に行ったところ、手首を複雑骨折しており入院した。（70歳代）

▼ひとこと助言▲

●店舗や商業施設で「つまずく」「滑る」等による転倒事故が起きています。ちよつとした段差や落下物、床に置かれた商品箱等、足元や周囲にも注意を払いましょう。

●特に雨の日の入口は、床が濡れて滑りやすいことがあるため、一層の注意が必要です。鮮魚コーナーや冷凍ケース等の周辺も床が濡れていることがあるので注意しましょう。

●もし、危険だと感じた時は、お店の方に申し出て安全策を取ってもらいましょう。

●高齢になるにつれて、足元や周囲に想定外の変化があった時、その対応が遅れがちになり、転倒やそれに伴う骨折などのリスクが高くなります。慎重に行動しましょう。

足元や周囲にも注意して



令和6年度  
道町連共済会員還元事業  
災害に強いまちづくり全道運動

北海道町内会連合会では、全国各地で度重なる台風や地震、豪雪、豪雨等による被災を教訓に、「災害に強いまちづくりをめざして」をテーマにした研究大会の開催や研修会への助成事業を通じて、災害時に住民が助けあえる安心・安全な地域づくりを推進しています。

防災活動研修会支援助成事業

～防災避難訓練等に取組む町内会に2万円を助成～

本助成事業は、災害に強いまちづくり全道運動として、単位町内会や地区連合会が主催する「防災訓練」や「自主防災組織研修会」に対し2万円の助成をしています。

なお、本助成事業は、安心・安全な町内会活動を応援するため「道町連共済」の会費収入を財源に、「会員還元事業」として位置づけて実施しており、会員還元事業の目的を徹底するため、助成対象を道町連共済に加入する単位町内会及び地区連合会に限定してご案内しました。

【本年度の申請は締め切りました】

研修会のメニュー

- ・ 自主防災組織研修会や組織づくりのための会議
- ・ 防災講習会、炊き出し訓練、防災マップづくり
- ・ 災害図上訓練(DIG)、避難所運営ゲーム(HUG)
- ・ 応急手当研修会、救急手当研修会
- ・ 災害時要援護者世帯調査・マップづくり
- ・ 安心・安全関係者ネットワーク会議

本助成事業は、道町連共済の会費収入を財源に会員還元事業として実施しています。



令和5年度の事例  
町内会でどこまで対応できるか地域で確認  
「防災訓練」

中標津町白樺町内会

中標津町白樺町内会(310世帯)では、10月29日(日)に、災害時において、町内会で何ができるかを一人でも多くの会員に知ってもらうため、防災訓練を実施しました。

当日は、中標津町の防災担当による出前講座「日ごろからの備え」を受講後、災害緊急時用の段ボールベッドの組み立て演習を行いました。

さらに、非常時用の水を確保するため、近隣の公園に設置している地下汲み上げパイプから、自家発電機を活用し、水を汲み上げる訓練を実施しました。

今回の研修会を通して、非常時において町内会で行える防災活動や避難活動にも限界があり、どこまで対応できるかを知ることができ、また、参加者全員の防災意識を高める研修会となりました。



▲出前講座で日ごろからの備えを受講



▲自家発電機で地下水汲み上げ

防災編

皆さんの地域でご利用ください  
安心・安全のための  
啓発パンフレット

北海道町内会連合会ホームページ内の「発行・資料パンフレット」のコンテンツに、PDFファイルにて掲載しておりますので、ぜひ地域でご活用ください。

防災ハンドブック(第4版)

～大切な家族を守るために～

(令和5年9月発行)



本ハンドブックは災害が起きてもあわてず落ち着いて行動できるよう日頃の備えを中心に、災害時の対応や風水害や暴風雪へ備えのほか、停電や積雪などによる冬の防災対策を盛り込んだ内容となっております。

防災活動の取組事例集

(令和3年1月発行)



「災害に強いまちづくり」をテーマに開催した町内会活動実践者研修会の内容をまとめたパンフレットや防災ハンドブックのほか、防災活動支援助成事業(災害に強いまちづくり全道運動)の取組み事例を紹介しております。

災害図上訓練DIGをやってみよう!(実践編)

(平成24年9月発行)



地域で、地震などの大きな災害が起きた場合を想定し、普段は意識しない地域の防災課題を議論する防災訓練の一つである災害図上訓練(DIG)についてまとめたパンフレットを発行しております。



～全道の町内会活動を支える～

# 道町連共済に加入して もしもの事故に備えましょう！

町内会活動中のケガに備えていますか？



道町連共済は、町内会・自治会活動中に事故にあわれたとき、お見舞金を支給する北海道町内会連合会の会員相互の助けあいの事業です。町内会関係者の長年の願いにより昭和58年にスタートして、令和5年にはおかげさまで40年を迎えました。

- 一人年200円の会費で最高200万円のお見舞金を支給しています
- 加入者と同居するご家族が代理で活動中のケガもお見舞金の対象になります
- 個人負担した医療費等の実費を支給します（上限あり）
- 薬代、補装具代、診断書取得料なども対象です（上限あり）
- 年度の途中からいつでもご加入いただけます（年度途中の加入も3月末までの加入）

## 見舞金の内容

見舞金の種類	支給額	条件
傷害見舞金	治療のために被害者が実際に負担した医療費	支給上限を10万円とする。医師の指示による薬代・補装具代も含む。
死亡見舞金B	10万円	死亡見舞金Aに該当しない、活動中の死亡に対して支給。発生後24時間以内に死亡の場合。
破損事故見舞金	1万円	共済加入者の町内会活動中の事故が原因で、町内会として実費弁償が生じた事故。但し、実費弁償額が1万円未満の場合は除く。
医師等の診断書（治ゆ証明書）文書料	一事故5,000円を限度に実費支給	通院した日が5日（1～5日）以内の事故は診断書（治ゆ証明書）が不要のため除く。
死亡見舞金A	200万円	活動中における外因・外傷の事故による死亡に対して支給。事故発生後180日以内に死亡の場合。
後遺障害見舞金	最高200万円	後遺障害の程度により支給。事故発生後180日以内に生じた場合。

※注 医師等とは、医師、歯科医師、柔道整復師をいいます。

※注 死亡見舞金A、後遺障害見舞金は、北海道町内会連合会が団体契約する損害保険会社から支給されます。



## このような見舞金が支給されています

### 傷害見舞金

#### 傷害見舞金 97,930円

町内会の春の大掃除に向かう途中、自転車に乗ろうとして転倒。救急車で病院に搬送され、左大腿骨頸部骨折と診断され、28日間入院、2日間通院しました。

（見舞金内訳）

- ・入院28日間：91,460円
- ・通院2日間：960円
- ・薬代：510円
- ・診断書料：5,000円



### 破損事故見舞金

#### 破損事故見舞金 10,000円

防災担当者として、防災訓練のため大型 TENT を会場内に設置。強風で TENT が飛ばされ、駐車していた普通乗用車に当たり、車体に傷をつけてしまいました。

### 死亡見舞金 A 200万円

会長として、町内会配付用の広報紙を受け取り、帰宅途中に凍結路面で転倒。頭部を強打し、脳挫傷で約12時間後に死亡されました。

※死亡見舞金Aは、町内会活動中の外因・外傷の事故による死亡に対して支給。（事故発生日から180日以内に死亡の場合に限る）

### 後遺障害見舞金

#### 後遺障害見舞金 200万円

（200万×100%＝200万円）

会長として、町内会の葬儀に参列。帰宅途中の路上で車にはねられ、脳挫傷や慢性硬膜下血腫などで入院。神経系統の機能などに著しい障害を残したため、100%の後遺障害見舞金が支給されました。

## 道町連共済のお問い合わせ

一般社団法人 北海道町内会連合会事務局 TEL:011-271-3178

FAX:011-271-3956 Email:info@d-choren.or.jp

※ホームページに詳しい情報を掲載しています

道町連共済

検索



## 令和6年度 ブロック別町内会活動研究大会

例年、道内4ブロックで実施しておりますブロック別町内会活動研究大会はインターネット(オンライン)と対面式の併用によるハイブリッド開催とします。

テーマ「安心・安全をめざした住民主体の地域づくり」

### と き

令和6年10月18日(金) 13:30~15:30

### 開催・視聴方法

オンライン参加・会場参加の併用開催  
※オンラインで参加される方には、開催日の1週間ほど前にメールにてURLをお知らせします。

### 内 容

#### (1) 実践報告会

##### テーマ①

「小樽市桂岡町内会の防災避難行動について」

報告者：小樽市桂岡町内会

総務部長 池田 正 氏

##### テーマ②

「富良野市春日東町連合会の防犯活動について」

報告者：富良野市春日東町連合会

事務局長 本間 幹章 氏

#### (2) 講演

##### テーマ

「これからの町内会活動と  
地域福祉のあり方について」

講 師：山田 正幸 氏

(NPO法人「ゆめみ〜る」副理事長・

元登別市連合町内会会長・元北海道

町内会連合会副会長・監事)

## 令和6年度市区町村町内会・自治会連合会組織 基本調査を実施

本調査は、令和6年9月1日時点の道内の市区町村の町内会・自治会連合会組織の概況や活動内容などを把握し、連合会組織の現状と課題について理解を深めてもらい、住民福祉活動を推進する組織として、充実・強化を図ることを目的として、5年に1度、市区町村町内会・自治会連合会組織への調査を実施しています。

### ～本秋の調査にご協力下さい～

189市区町村行政、市区町村町内会連合会あてに調査票をお送りしておりますので、ご協力をお願いします。

ご回答いただいた内容の集計結果は、令和7年3月に報告書にまとめて、本会会員組織にお送りいたします。



←「市区町村町内会・自治会連合会組織基本調査報告書」(発行日:令和2年3月)  
※前回(令和元年度)の調査の報告は、本会ホームページ内に掲載しております。

## 北海道警察からのお知らせ 特殊詐欺にご注意ください



### オレオレ詐欺

息子や孫などを装って助けを求め、金銭を要求する手口です。

#### ▼こんな言葉に注意!

「会社のお金をなくしてしまった」

「お金などの入ったカバンを盗まれた」など



### 還付金詐欺

役所の職員などを装って電話をかけ、医療費や保険料の払い戻しがあると偽って口座に現金を振り込ませる手口です。

#### ▼こんな言葉に注意!

「医療費の還付金がある」

「今日中にATMで手続きをしないと受け取れない」など



### 架空料金請求詐欺

架空の話をあたかも真実のように巧みに話し、お金をだまし取る手口です。

例えば、実際には発生していない料金を未払いと偽り、金銭を要求する手口です。

#### ▼こんな言葉に注意!

「早急に支払わないと裁判になる」など



### キャッシュカード詐欺盗

口座が悪用されているなどと偽って、言葉巧みにキャッシュカード自体をだまし取り、暗証番号を聞き出して預金を引き出す手口です。

#### ▼こんな言葉に注意!

「口座が悪用されているため、キャッシュカードを預かりに行く」など



## だまされないために

### おかしいと思ったらすぐに相談!

突然の電話でお金に関する話が出たら、電話を切って#9110(警察相談ダイヤル)や家族など、周りに相談しましょう。

### 家族と協力して対策しましょう!

家族と別居していてもこまめに連絡を取っていると、家族を装った電話の不自然さに気づきやすくなります。合言葉を決めておくことも有効です。

## 特殊サギ撃退ゲーム in 北海道

北海道警察のホームページでは「特殊サギ撃退ゲーム」というスゴロクゲームを紹介しています。

各マスに特殊詐欺の流行の手口や対処方法等をクイズ形式で掲載しており、仲間同士で楽しく遊びながら、考え、話し合うことで、被害に遭わないための抵抗力(知識や対応力)を高めることができます。ぜひ、みなさんの町内会でも取り入れてみませんか?

北海道警察「特殊サギ撃退ゲーム in 北海道」で検索

## 今後の会議等の予定

10月18日ブロック別町内会活動研究大会